

＜内閣府 青年国際交流事業＞

(平成29(2017)年度予定)

○日本や各国を代表する青年が、共に国際的課題についてのディスカッション等の活動を行うことを通じ、諸外国における我が国への理解・関心を増進するとともに、国際協調の精神と実践力を向上させ、国際社会・地域社会で活躍する次世代グローバルリーダーを育成する。

・また、日本青年と外国青年が相互理解と友好を深め、生涯にわたる絆を構築。

・参加各国の青年からは、政治指導者を始め各界のリーダーを数多く輩出。

(ニュージーランド元首相 ヘレン・クラーク氏(現UNDP総裁)、各国の閣僚・国会議員、大学教授、国際機関幹部、民間企業幹部 等)

・今上陛下の御成婚記念として開始以来、皇室の関わる事業として実施。友好の象徴として諸外国から高い評価。

東南アジア青年の船

経 緯

- ・日本・東南アジア諸国共同声明(1974年)
- ・日・ASEAN首脳会議(2003年)で事業の支援を採択
- ・首脳の共同声明等で言及

次世代グローバルリーダー事業 「世界青年の船」

- ・国際社会、地域社会等の両方の場において活躍しう人材(グローバル・リーダー)の育成を目的
- ・2012年度までの「世界青年の船」、2013年度「グローバルリーダー育成事業」等を経て発展的に改組して2015年度より実施

国際青年育成交流

- ・今上陛下御成婚(1959年)を記念して開始、皇太子殿下の御成婚(1993年)を記念して再編

日中・日韓青年親善交流

- ・日中平和友好条約締結(1978年)を契機に開始(1979年)(中華全国青年連合会と共同)
- ・日韓共同声明(1984年)、国交正常化20周年(1985年)を契機に開始(1987年)

地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」

- ・地域の共生社会の実現に向けた課題に携わる青年に実務的な能力・スキルを身に付ける機会を提供することを目的として2016年度開始。
- ・2002年度に開始された青年社会活動コアリーダー育成プログラムを発展的に改組

皇室御接見・行啓、内閣総理大臣表敬を毎年実施

- ・総理表敬
- ・秋篠宮同妃両殿下御引見
- ・秋篠宮同妃両殿下お成り
- ・秋篠宮同妃両殿下御接見

- ・皇太子殿下御接見
- ・総理表敬

皇太子同妃両殿下行啓

概 要

- (参加青年)
- ・日本青年等 40人
 - ・ASEAN10か国の青年等 290人
- (訪問国)
- ASEAN10か国のうち5か国
- (時期・期間)
- 約40日間の航海を含めた約50日間(10月下旬から)

- (参加青年)
- ・日本青年等 120人
 - ・10ヶ国の青年等 120人
- (時期・期間) 1月下旬～3月上旬
- 陸上研修 約7日間
- 船上研修 約34日間
- (寄港地活動含む)

- (参加青年)
- 日本青年等 48人
- 参加各国の青年等 51人
- (訪問国) 3か国
- (時期・期間)
- ・派遣:18日間(9月)
 - ・招へい:16日間(9,10月)
- ※日本青年帰国後、外国青年招へい中に、国際青年交流会議を開催

- (参加青年)
- ・日中の青年等各30人(調整中)
 - ・日韓の青年等各30人
- (訪問国) 中国
- 韓国
- (時期・期間)
- ・中国 派遣:12日間(未定)
 - 招へい:12日間(未定)
 - ・韓国 派遣:15日間(9月)
 - 招へい:15日間(7,8月)

- ・高齢者、障害者、青少年の3分野に関する活動に従事する
 - 日本青年等27人
 - 外国青年等39人
- (訪問国) 3か国
- (時期・期間)
- ・派遣:10日間(10月)
 - ・招へい:15日間(2月)

外国青年との濃密なディスカッション、課題別視察、表敬訪問、自国文化紹介、ホームステイなどを実施。

- 青年国際交流は、「子供・若者育成支援推進大綱」(平成28年2月9日子ども・若者育成支援推進本部決定)においても、施策の一つとして位置付け。
- 事業期間に加え、選考(都道府県選考後、国が直接選考)、事前研修(3日～7日の合宿型)、直前研修(合宿)、事後研修(合宿)、報告会等を実施。

平成 28 年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」の概要

【目 的】

各地域で高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の課題解決に向けた取組に携わる日本青年の外国への派遣及び外国青年の招へいにより、組織で活動する青年同士の交流を促し、各分野の地域の課題対応に当たって必要な知識とともに、組織の運営、関係機関等との連携及び人的ネットワーク形成に当たって必要となる実務的な能力の向上を図ることを目的として実施。

【構 成】

本事業は、「日本青年海外派遣」及び「外国青年日本招へい」により構成し、分野ごとに、以下のテーマに基づいて訪問国/日本国内における活動を行う。

- ・高齢者分野：地域における高齢者支援に必要な連携
- ・障害者分野：地域における障害者の社会参画の更なる拡大
- ・青少年分野：子供・若者の育成支援に関わる人材の養成

1. 日本青年海外派遣

- (1) 訪問国、分野及び派遣人数（3 か国に各 9 名、計 27 名）
 - ・英 国：高齢者分野 で活動する青年 8 名＋団長 1 名の計 9 名
 - ・フィンランド：障害者分野 同上
 - ・ド イ ツ：青少年分野 同上
- (2) 派遣時期及び期間
 - ・平成 28 年 10 月 9 日（日）から 10 月 18 日（火）までの 10 日間
- (3) 訪問国における活動
 - ・先進的・特徴的な社会活動現場・関連施設等の訪問と意見交換及び民泊（又は家庭訪問）を実施
- (4) 研修
 - ・事前研修： 3 日間（平成 28 年 6 月 24 日（金）～ 6 月 26 日（日））
 - ・出発前研修：2 日間（平成 28 年 10 月 7 日（金）～10 月 8 日（土））
 - ・帰国後研修：2 日間（平成 28 年 10 月 19 日（水）～10 月 20 日（木））

2. 外国青年日本招へい

- (1) 招へい国、分野及び人数（実績）
 - ・英 国：高齢者関連 4 名、障害者関連 4 名、青少年関連 4 名＋団長（高齢者分野）の計 13 名
 - ・フィンランド：高齢者関連 4 名、障害者関連 4 名、青少年関連 3 名＋団長（障害者分野）の計 12 名
 - ・ド イ ツ：高齢者関連 4 名、障害者関連 4 名、青少年関連 3 名＋団長（青少年分野）の計 12 名
- (2) 招へい時期及び期間
 - ・平成 29 年 2 月 14 日（火）から 28 日（火）までの 15 日間
- (3) 日本国内における活動
 - ・東京プログラム：NPO マネジメント・フォーラム（各国、各分野を交えて日本青年と合宿型討議）
 - ・地方プログラム：施設訪問、地方セミナー（地元活動青年と意見交換）、民泊等を実施。
（分野別に、高齢者：鳥取県、障害者：大分県、青少年：鹿児島県を訪問（H29. 2. 21（火）～26（日）））

【参加青年の資格】

- ・参加分野における活動歴が原則 3 年以上ある 23 歳から 40 歳までの者
- ・現在非営利団体を運営しているか、将来運営する意欲があること
- ・プログラム終了後も、招へいプログラムに積極的に関わるとともに（日本参加青年）、本事業の経験を生かして社会活動を活発に行うこと

平成 28 年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」日程

1 事前研修日程

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

6 月 24 日(金)		
10:45-12:20	団長会議	
12:25-12:35	生活オリエンテーション	
12:40-13:00	開講式	
13:00-14:00	事前研修オリエンテーション	
14:00-14:30	団別自己紹介	
14:45-16:00	団別研修Ⅰ 政府職員による講義	
16:15-18:15	高齢者関連活動	団別研修Ⅱ 外部講師による講義
	障害者関連活動	団別研修Ⅲ 団別オリエンテーション&研修テーマ作成に向けた課題共有
	青少年関連活動	団別研修Ⅱ 外部講師による講義
19:15-21:30	高齢者関連活動	団別研修Ⅲ 団別オリエンテーション&研修テーマ作成に向けた課題共有
	障害者関連活動	団別研修Ⅳ 団テーマ及び個人テーマの作成に向けた準備
	青少年関連活動	団別研修Ⅲ 団別オリエンテーション&研修テーマ作成に向けた課題共有
6 月 25 日 (土)		
9:00-12:30	高齢者関連活動	団別研修Ⅳ 団テーマ及び個人テーマの作成
	障害者関連活動	団別研修Ⅱ 外部講師による講義 (9:00～11:00)
	青少年関連活動	団別研修Ⅳ 団テーマ及び個人テーマの作成
13:30-14:30	団別研修Ⅴ 団テーマのまとめと訪問国活動の希望事項の作成	
14:45-15:30	英語によるコミュニケーション講座	
15:30-16:15	プロトコール・マナー講座	
16:25-17:00	事後活動の紹介	
17:15-18:15	団別研修Ⅵ 既派遣青年との懇談	
18:30-19:10	既派遣青年を交えた小グループディスカッション (中間地点での振り返り)	
19:30-20:45	夕食交流会	
6 月 26 日 (日)		
9:00-10:15	団別研修Ⅶ 研修テーマ発表準備	
10:30-11:30	各団研修状況の発表 (団テーマ、個人テーマ、訪問先ねらい)	
11:40-12:00	結団式・閉講式	
13:00-14:00	団別研修Ⅷ 振り返りと今後の研修計画	
14:15-14:45	事務連絡	
15:00-16:00	団長会議	

2 出発前研修

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

10月7日(金)	
13:00-13:30	団長会議
14:00-15:00	オリエンテーション
15:15-17:00	団別研修Ⅰ 訪問日程説明
17:00-17:30	事務連絡（渡航手続きなど）
19:00-21:00	団別研修Ⅱ 自主研修の内容共有、研修テーマに基づく訪問先でのポイントの掘り下げ
10月8日(土)	
9:00-11:15	団別研修Ⅲ 自主研修の内容共有、研修テーマに基づく訪問先でのポイントの掘り下げ
11:45-13:00	全体会（団別発表、内閣府総評）
13:15-14:30	壮行会
14:45-15:30	全体会（小グループ意見交換）
15:45-16:45	受入プログラム及び事後活動について
17:00-18:00	団別研修Ⅳ 自主研修の内容共有、研修テーマに基づく訪問先でのポイントの掘り下げ
10月9日(日)	
出国、各訪問国へ	

3 派遣（別紙参照）

4 帰国後研修

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

10月18日(火)	
14:00-18:00	団別研修（障害者関連活動）
10月19日(水)	
9:00-9:45	全体研修
10:00-12:15	団別研修Ⅰ 成果報告会の準備、団としての今後の連携
13:30-16:15	団別研修Ⅱ 成果報告会の準備、団としての今後の連携
16:30-18:20	成果報告会（各団帰国報告、内閣府講評）
18:30-18:45	解団式
19:00-20:15	帰国懇親会
10月20日(木)	
9:00-10:00	事後活動について
10:00-11:00	分野ミックスの小グループディスカッション
(10:10-10:50)	団長会議
11:00-11:10	事務連絡
11:15-12:15	団別研修Ⅲ 団のまとめ

平成28年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」
日本青年海外派遣日程

英国団（高齢者関連活動）行動記録

月日	行 動 内 容
10月9日 (日)	東京国際空港(羽田)発 ヒースロー空港着 (ロンドン泊)
10月10日 (月)	在英国日本国大使館訪問 市民社会庁(英国内閣府)訪問 市民社会庁より講義 労働年金省より講義 保健省より講義 歓迎会 (ロンドン泊)
10月11日 (火)	全国ボランティア団体協議会(NCVO) 訪問 NCVOからコンパクト等についての講義 エイジUKより講義 エイジUK及びエイジUKカムデンのスタッフと昼食 エイジUKカムデンより講義 (ロンドン泊)
10月12日 (水)	エイジUKレイシャム・アンド・サザーク訪問 ストーン・エンド・デイセンター訪問 (利用者と昼食交流を含む) (ロンドン泊)
10月13日 (木)	ステイウェル訪問 ブライトンへバス移動 NCVOポール氏よりアウトリーチについての講義 (ブライトン泊)
10月14日 (金)	ケア・フォー・ケアラーズ訪問 エイジ・コンサーン・イーストボーンの作業所とイベントセンターを視察 ステイ・アップ・レイトによるギグ・バディ・プログラム参加 (ブライトン泊)
10月15日 (土)	ホームステイマッチング (ホームステイ)
10月16日 (日)	ホームステイ ホストファミリーとお別れ会 (ロンドン泊)
10月17日 (月)	フラム・グッド・ネイバース訪問 NCVOにてプログラム評価会 ヒースロー空港発 (機内泊)
10月18日 (火)	東京国際空港(羽田) 着